

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みんなのおうち		
○保護者評価実施期間	R7年9月27日		R7年10月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	R7年9月27日		R7年10月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年10月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校での情報を職員と保護者にしっかり伝達している。	ケア会議・支援会議に出席している。	当事業所から各方面へ積極的にアプローチをかけていく。
2	保護者及び利用児の満足度が高い。	さまざまな活動を計画することで、子どもが飽きることはないようにしている。	職員全員でアイデアを出し合い、さらに多様な活動ができるように計画を立てていく。
3	イベントを行うことで、きょうだい児支援を図ることができている。	夏休みのイベント、秋のフェスティバルを開催し、きょうだい児も参加できる機会を設けた。	参加しやすいイベントを考案していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族参加の研修会がない。	事業所内の研修会は定期的に行っているが、周知していない。	事業所内での取り組みをもっと積極的に保護者へ周知していく。
2	標準化されたツールを用いたアセスメントがない。	児発管が支援計画を立案しており、全体として必要性を感じていなかった。	支援に関して根拠のある尺度を用いることを検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みんなのおうち

公表日 R7年10月28日

利用児童数

14

回収数

11

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	91%	9%				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	73%			27%		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	90%			10%	・どこに何があるか、何をやるスペースが分かりやすく、自分で選択して行動できる環境になっている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	91%			9%		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	91%	9%				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	82%	9%	9%		・家族からの要望や意見を聞いて、本人、家族の意向に沿った支援が設定され、スタッフ間にも共有されていると感じる	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	91%			9%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	82%			18%	・いろいろな活動をしてくれてありがたい。子どもも喜んで行っている	
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	54%	18%	9%	18%	・児童館へ行ったり、フェスを開催している。今後は児童館のイベント等に参加できるといい	・機会を増やせるように考案していく
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	91%			9%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27%	18%	27%	27%		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	54%	27%	18%			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	81%	9%		9%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	63%	18%	9%		・きょうだい同士の交流に参加していきたい ・夏休みのイベントにきょうだいも参加できたのは良かった。	・今後も参加しやすいイベントを考案していく ・保護者が集う機会として研修の案内を行う

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	54%	18%	9%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	91%				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	72%	9%	9%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	81%	9%			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	63%	9%	18%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	63%	9%	18%	・夏休みに一回あったのみ？	・年に2回の開催を予定している ・訓練を行う際にはしっかり周知する
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	81%	9%			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	91%				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	91%				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	81%	9%		・とても楽しみにしていて、活動も参加できているので満足している	
	29	事業所の支援に満足していますか。	81%	9%		・何か変わったことがあればすぐ伝えてもらえるので、家族も安心して預けられる	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	みんなのおうち				公表日	R7年10月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%			・今は良いが、1日の利用人数が増えて車いすが多くなるとスペースが足りない
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%		・男性職員がいると良い ・ギリギリ足りている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・1人1人の荷物入れがとて分かりやすく配置されている。全体が見渡せ、声が届きやすい環境になっている ・バリアフリー化されている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・少人数でも大人数でも過ごせるよう、またリラックスできる環境作りをしている ・毎日清掃し、消毒している	・窓ガラスについては今後検討する必要あり
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	62.5%	12.5%	・ソファや間仕切り、カーテンで休息や着替えのスペースが確保されている	・ひとりになったり気持ちを落ちつける時に利用できる場所を作ることができれば ・もう少し明確にしたほうがよい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%		・目標設定を具体的にする必要あり
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・定期的にアンケートが実施されている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%		・ミーティングや、何か問題が起きた時に話し合いの場が設けられ、改善のための意見交換ができています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12.5%	50%		・外部に依頼することを検討してみても
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	87.5%		・月一回の研修を法人内で行うようにしている	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	75%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	75%			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	50%	50%		・計画内容を具体的に話し合う機会があると良い ・なるべく職員全員でのモニタリングを行うべき
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	50%	50%		・計画書の内容と日々の支援がどうつながっているのか、全員が理解しているのかよく分からない。指導もないように思う ・ミーティング内で共有していきたい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	25%	75%		・観察について明確化されたものがない ・よく分からない
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	75%	25%		・具体的に設定されているのかは疑問
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	87.5%		・パートと常勤でチームを組んで行っていく	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	87.5%		・たくさんのアイデアや意見を取り入れて、色々な活動プログラムが計画・実施されている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	87.5%		・毎日のミーティングで行えるようになってきた	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	62.5%	25%	・当日行えない場合は、翌日などに振り返りを行っている	・送迎の関係上でできていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%		分からない
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	75%	25%		・自発管のみで行っているため、全員で行えるとうい
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	50%	12.5%		分からない
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	87.5%		・常に自己選択できるようにおやつ・あそびが工夫されている		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	87.5%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	12.5%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	87.5%		・学校、保護者両方と連携を図り、情報の伝え漏れがないようにしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	25%		分からない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	37.5%	12.5%	・研修はできるかぎり受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	62.5%	37.5%	・夏の活動に地域の子どもが参加したり、フェスなどの行事にも多くの親子が訪れて交流を持っている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	12.5%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	87.5%			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	25%	50%		・家族が参加できる研修の機会があれば良い
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	75%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	87.5%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	87.5%			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	87.5%			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	37.5%	50%		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	62.5%			・内容の見直し必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	62.5%			・内容の見直し必要
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	75%			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	87.5%	12.5%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	62.5%	12.5%		・足りていない
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	50%	25%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	50%	25%		・事例なし	